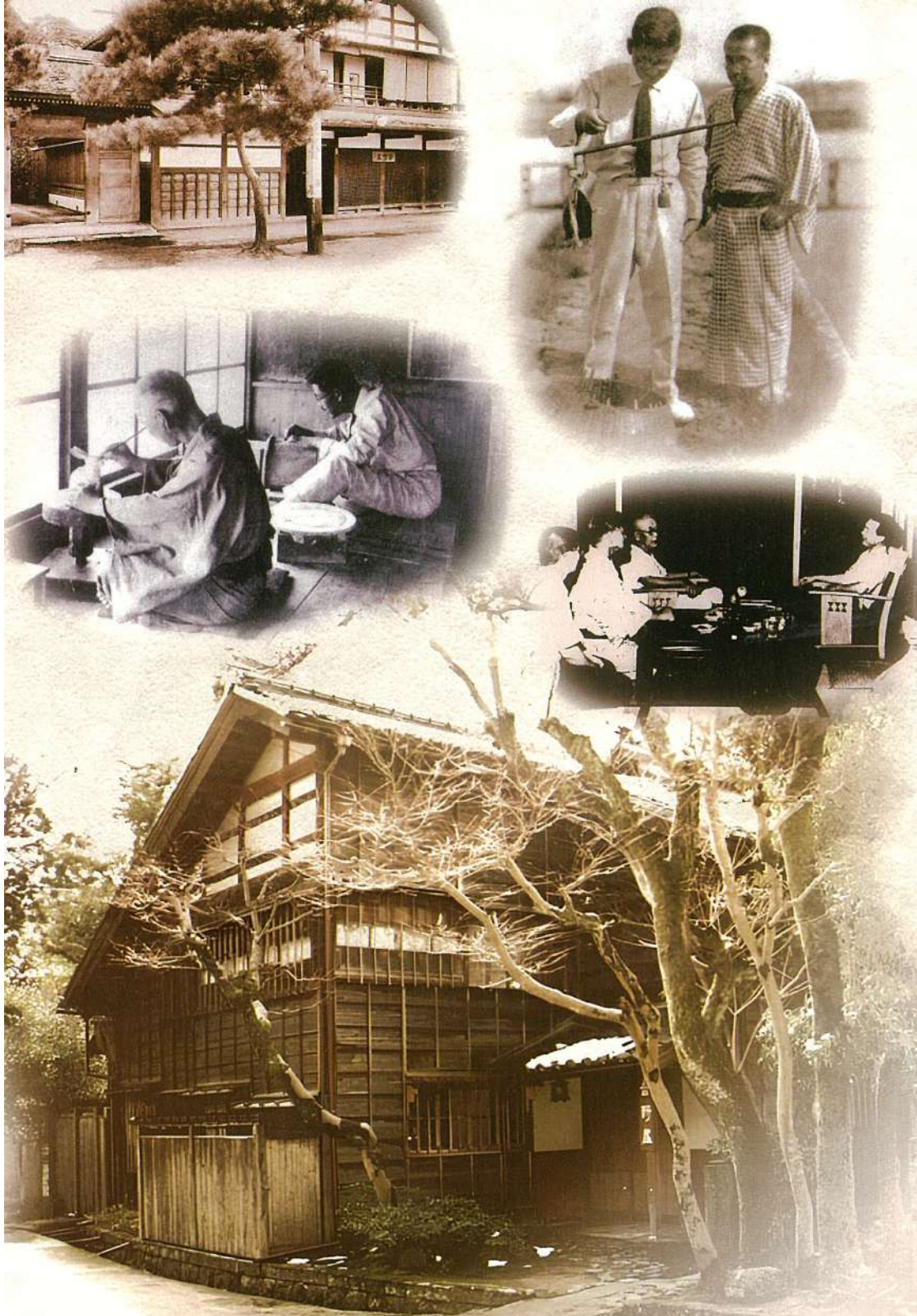


魯山人と山代温泉

— 魯山人にとって、山代温泉とはどんな場所だったのか —



2026
7/30(木) → 11/17(火)

休館日 水曜日(祝日を除く)
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
観覧料 一般 560円、75歳以上 280円、
団体(20名以上) 460円、高校生以下は無料

主催 魯山人寓居跡いろは草庵(加賀市総合サービス株式会社)
後援 北國新聞社、加賀ケーブル



魯山人寓居跡 いろは草庵

Iroha-souan

the old temporary abode of Rosanjin

北大路魯山人
古九谷風船人物図向付
個人蔵

魯山人と山代温泉

2026
7/30 (木)

11/17 (火)

— 魯山人にとって、山代温泉とはどんな場所だったのか —

魯山人が山代温泉に訪れたのは、大正4年。当時はまだ福田大観と名乗っていた32歳の書家・篆刻家でした。老舗の旅館 吉野屋の離れ(現 魯山人寓居跡いろは草庵)に食客として招かれた若い芸術家を、山代温泉の旦那衆は温かく迎え入れ、多くの旅館で看板制作を依頼し、才能あふれる魯山人を応援しました。滞在期間は短かったものの、その中で陶芸に目覚めるきっかけを得るなど、彼の芸術活動に大きな影響を与えました。また北陸の美食を堪能し、芸術を語り合うひと時を過ごしました。こうした交流は晩年まで続き、魯山人の創作活動や人生に深い影響をもたらし、彼を支える重要な絆となりました。作品を通じて、山代温泉での彼の思い出や日々のひとコマを感じ取っていただければ幸いです。

また、魯山人と交流のあった山代の芸術家・和田好山との共作の作品も展示いたします。好山は納富介次郎に師事し、富山県工芸学校で助教諭や香川県工芸学校の校長心得を務め、全国の工芸デザインの向上に努めた人物です。山代温泉と魯山人、そして和田好山との交流をご紹介します。



和田好山・北大路魯山人 赤絵湯呑 個人蔵

夏季期間限定

夏のおもてなし

夏季期間中、水出しの加賀棒茶と金箔をあしらった金平糖でおもてなしをしています。



魯山人のおもてなしの心を大切にしている当館では、暑い季節には冷たいお茶と涼やかなお菓子で皆様をお迎えしております。

EVENT

いろは草庵「邦楽の夕べ」

2026年10月2日(金)

18:00 開場 19:00 開演

(※終演は19:30頃を予定)

会場 魯山人寓居跡いろは草庵
料金 2,000円(お茶菓子付)
定員 30名 ※先着順
申込 いろは草庵(0761-77-7111)にて受付
8月30日(日)9:00 ~ 受付開始



魯山人寓居跡 いろは草庵

Iroha-souan - the old temporary abode of Rosanjin

〒922-0242 石川県加賀市山代温泉18の5番地
TEL 0761-77-7111 FAX 0761-77-7110
URL <https://iroha.kagashi-ss.com/>
指定管理会社 加賀市総合サービス株式会社

休館日 水曜日(祝日を除く)
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
観覧料 一般 560円 / 75歳以上 280円
団体(20名以上) 460円 / 高校生以下無料



HP



Instagram

